

2015 年度 中央大学特定課題研究費 ー研究報告書ー

所属	法学部	身分	教授
氏名	中澤 秀雄		
NAME	Nakazawa Hideo		

1. 研究課題

（和文）まちづくりの政治学: 制度・主体・場のインターフェースを探る

（英文）Politics on machizukuri: Searching for interfaces of institution, agent and milieu

2. 研究期間

2年間

3. 研究の概要（背景・目的・研究計画・内容および成果 和文 600 字程度、英文 50word 程度）

（和文）

申請者は2014年度から科学研究費（基盤研究A）を獲得しているが、これは産炭地というテーマに関連する学際共同研究である。本研究課題は、その一種の応用として、まちづくりのグッド・プラクティスにあたるケースや、そのポテンシャルを持っているケースについて、自然資本や地場産業を活用し、創造的な課題解決に取り組み、地域経済からの漏出を防ぐ物質・貨幣・労働力交換を作り出すようなモデル（「里山資本主義」とも言われる）の政治学的な含意を追求した。これらの取り組みの特徴として（1）貨幣経済の背後に現物・労働力・ケア・エネルギーの貸借・交換関係が広く存在し、それが豊かさやセキュリティの裾野を作り出している（2）創造的・革新的な政策やアイデアを継続的に生み出す場と主体が存在する（3）そうした創造性を具体化し、物財・政策として実現するために使える制度資源を総動員し、ときには制度転用するような政治文化がある、という点を確認できた。

調査対象としては、文献調査のほか、相手方との信頼関係を構築している千葉市稲毛商店街および六次産業化を進める岩手県南から三陸沿岸地域が中心となった。また研究成果は、法学部において2016年度から開講された授業『まちづくり論』に応用している。

（英文）

Machizukuri movement all through Japan is indispensable element when discussing the revitalization and administration of local autonomy, especially in less urbanized areas. Having finished several fieldwork and also having examined several articles, I found a few common features of successful machizukuri cases. Generally speaking, they composed relatively independent economic field and used institutional resources creatively, not being afraid of policy diversion process if it is needed.